

# 高すぎる教育費 学費の軽減を

いま、各大学は“財政難”に苦しみ、教育研究費を削り、教職員は正規から非正規雇用へ置き換えざるを得なくなりました。教育研究力も低下するなど、政治によってもたらされた大学の財政難で、教育研究条件の劣悪化が学費値上げの原因となっています。

## 5月8日「2026年度学費負担軽減！ 高等教育予算拡充を求める」集会へ

- ★ひとり親の老後の資金を学費に充てている。親に『長生きはしないから（大丈夫）』と言われてしまうことへの苦しみ（学生）
- ★現行の奨学金制度では、受給する学生と不受給の学生との間に分断がうまれている（学生）
- ★学生の負担軽減のために、本の紹介には「低価格か」「学校・図書館にある本か」という観点が見えぬ（教員）



- ★バイトで学費も生活費も稼ぐ学生の中には、週明けの授業で居眠りをする学生もいる（教員）
- ★急な学費の値上げで中途退学を強いられた学生がいる（学生）

などの現状と、未来・若者の権利のために教育予算の拡充を望む切実な声が、次々にあがりました。



どの学生も安心して学業に専念できるように…

## 日本学術会議との関係も

学術会議は軍事に動員された反省に立ち、学者たちが**政府から独立**して作ったものです。いま、すでに軍事研究も始まっており、この先学生・院生も動員され、秘密厳守が徹底されれば「国によって学生たちも分断されていく」という言及もありました。

署名 「STOP！日本学術会議の法人化」にご協力ください

学問は戦争ではなく平和のために利用すべきです。二度と同じ過ちを繰り返さないために。今を戦前にしないために。

# 2025 憲法大集会へ

## 未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！

5月3日の青空の下、有明防災公園に約3万8000人（主催者発表）が集まりました。

超党派の国会議員が登壇し、日本被団協の田中熙巳代表委員は「数年の間、世界は核戦争の危険な状況にある。なんとかして打ち破りたい。核兵器は絶対に使ってはいけないという規範を70年にわたってつくり上げ、80年間核戦争を起さなかった日本被団協と被爆者の運動を引き継いでほしい」と訴えました。平和が当たり前の中で生きてきた私たち。今度は次世代の当たり前のために声をあげていかなくては！と痛感します。



# 先生に適切な残業代を

国際労働機関（ILO）と国連教育科学文化機関（ユネスコ）は、日本の公立学校教員の長時間過密労働の要因になっている残業代不支給制度について、日本政府に以下の内容を勧告しました。

- ★所定労働時間を超える労働について適切に報酬を支払う透明性のある制度を工夫すること
- ★教員がより多くの時間を教育に関する活動に充てられるよう十分な学校職員数を確保するための措置を講じること

国際機関からも残業代不支給制度の異常性が指摘され、ひどさが露呈した日本の教育現場。『せんせいふやそう！』と大きく広げてください。

日本共産党は、企業・団体献金も政党助成金も受け取らない政党です。企業・団体献金の全面禁止と政党助成制度の廃止を一体で行うことが、金権腐敗政治を無くす道だと考えます。

東村山民報 2025年6月号外 山田たか子活動紹介です。  
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5

☆山田たか子 ☆いま しんぶん赤旗 がおもしろい！



HP 日刊紙 月3,497円

日曜版 月990円

(日刊紙 電子版 月3,497円)

お申し込みは山田までどうぞ(^\_^)

